第20回全国障害者スポーツ大会
燃ゆる感動 かごしま大会

会期：2020年10月２４日（土）～10月２６日（月）【３日間】

○：個人競技　６競技
◎：団体競技　７競技
◆：オープン競技 ３競技

身：身体障害者が出場できる競技
知：知的障害者が出場できる競技
精：精神障害者が出場できる競技

○ 卓球（身・知・精）
一般の卓球と，視覚障害のある選手が，金属球入りのボールを転がし，その音を頼りに，ラバーのないラケットで打ち合う，サウンドテーブルテニスの２種目が実施されます。2019年の茨城大会から精神障害者も出場できるようになります。
【鹿児島アリーナ：鹿児島市】

◆ ふうせんバレーボール（身・知・精）
障害者と健常者の６人１チームで全員がボールに触れてから10回以内に相手コートに返球します。
【郡山体育館：鹿児島市】

◎ 車いすバスケットボール（身）
選手が車椅子に乗って競技する以外は，コートの広さ，ゴールの高さ，試合時間など，一般のバスケットボールとほぼ同じルールで実施されます。
【いちき串木野市総合体育館：いちき串木野市】

◆ 電動車椅子サッカー（身）
電動車椅子の前にフットガードをつけて行うサッカーです。
【鹿児島アリーナ：鹿児島市】

◎ バスケットボール（知）
一般のバスケットボールと同じルールで，男女別に分かれて行います。試合は，10分のピリオドを，４回行います。
【姶良市総合運動公園体育館：姶良市】

◆ スポーツ吹矢（身）
６～１０m先の的に向かって1ラウンド5本の矢を放ち，4ラウンドの合計点数を競います。
【ハートピアかごしま：鹿児島市】

◎ サッカー（知）
一般のサッカーとほぼ同じルールで実施されます。試合時間は，10分間のハーフタイムをはさんで，前後半，各３０分の合計６０分で実施されます。
【国分運動公園陸上競技場：霧島市】

○ 陸上競技（身・知）
100m走などの一般的な種目と，ジャベリックスローやスラロームなど，障害者スポーツ大会特有の種目あわせて15種目が実施されます。
【白波スタジアム（県立鴨池陸上競技場）：鹿児島市】

◎ バレーボール（身・知・精）
聴覚障害者，知的障害者，精神障害者に分かれて実施されます。聴覚・知的障害部門は一般のバレーボールのルールを基本として，男女別に実施されます。精神障害部門は男女混合で実施され，ソフトバレーボールを使用します。
【桜島総合体育館：鹿児島市】（身・知）
【平和公園串良平和アリーナ：鹿屋市】（精）

○ 水泳（身・知）
障害の程度に応じて，水中からのスタートや浮具の使用が認められており，自由形，平泳ぎ，背泳ぎ及びバタフライが実施されます。
【鴨池公園水泳プール：鹿児島市】

○ ボウリング（知）
ルールは一般のボウリングと同じで，４ゲームの合計点を競います。試合の方法は，デュアルレーン（アメリカン）方式で実施されます。
【サンライトゾーン：鹿児島市】

◎ グランドソフトボール（身）
視覚障害のある選手が行う競技で，一般のソフトボールのルールを基本としています。ハンドボールに似たボールを使用し，ボールの転がる音を頼りにプレーします。
【開聞総合グラウンド：指宿市】

○ アーチェリー（身）
弓の違いにより，「リカーブ部門」「コンパウンド部門」があり，それぞれ50mと30m離れた標的を射て得点を競う「50m・30mラウンド」と，30m離れた標的を２度射て得点を競う「30mダブルラウンド」が実施されます。
【鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場：鹿児島市】

◎ ソフトボール（知）
一般のソフトボールとほぼ同じルールで実施されますが，盗塁やスクイズを認めないなどの独自のルールが設定されています。
【知覧平和公園多目的球場：南九州市】

○ フライングディスク（身・知）
樹脂製のディスク（円盤）を投げ，円形の標的の内側を通過した枚数を競う「アキュラシー」と，飛行距離を競う「ディスタンス」の２種目が実施されます。
【県立サッカー・ラグビー場：鹿児島市】

◎ フットベースボール（知）
ルールは一般のソフトボールを基本としていますが，バットやグローブは使わずに，ピッチャーがゴム製のサッカーボールを転がし，キッカーがそれを蹴ってプレーします。
【知覧平和公園陸上競技場：南九州市】